

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	3-1-2		事業名	高齢者が安心して暮らせるまちづくり推進事業			
担当	白石区保健福祉部保健福祉課 大久保 861-2400内線326						
全 体 計 画							
事業内容	区内の「要援護者(65歳以上の単身高齢者で、介護保険の要支援者や要介護者には至らない者)」の福祉ニーズを把握し、地域住民(町内会)を中心に、民生委員児童委員、福祉のまち推進センター、区社会福祉協議会、地域包括支援センター等による、地域におけるネットワークを発展させ、ニーズに即した介護予防事業や地域ケア体制を整備するなど、福祉支援活動を一層効率的、効果的に実施するとともに、地域住民等が自ら地域の要援護者への支援を行うことができる体制づくりを推進する。			<年度別の事業内容>			
				平成19・20年度 関係団体連絡会議の開催、モデル地区(連合町内会単位)の選定、要援護者の福祉ニーズの把握、地域住民等への単身高齢者に関する情報提供に伴う課題の整理、具体的な支援策の検討 平成21年度 モデル地区における具体的な支援策の実施 平成22年度 区内全域での支援策の実施			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	関係団体連絡会議の開催、モデル地区(連合町内会単位)の選定			モデル地区における要援護者の福祉ニーズの把握、地域住民等への単身高齢者に関する情報提供に伴う課題の整理、具体的な支援策の検討			
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
地域における要援護者への体制づくり		-	モデル地区 の選定	モデル地区 での取り組	モデル地区 での取り組	全地区での 取り組み	全地区での 取り組み
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 本事業は、町内会、地区民生委員児童委員、地区福祉のまち推進センター、地区社会福祉協議会など、地域住民が主体となるものであり、行政の役割は、これらの団体の活動を有機的に結びつけ、地域住民が地域の要援護者への支援活動に自主的に参加する仕組みを作ることにある。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] 今後、地域におけるネットワークを発展させていく上で、地域の多様な人材との連携・協力が不可欠となる。 [情報協力] [その他の協力] 市民・企業等が参加しやすい環境づくり モデル地区においては、地域の単身高齢者の福祉ニーズを地域住民が主体となって調査することを予定しており、身近な高齢者の状況を具体的に知ることで、市民等が参加するきっかけ作りとなる。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	3-1-2		事業名	高齢者が安心して暮らせるまちづくり推進事業		
評価(成果)			課題			
<p>これまで単身高齢者を対象とした支援活動は、関係団体がそれぞれ独自に実施しているが多かったが、地域住民や関係団体との協議を行う中で、地域全体で取り組むことが必要である、との認識が生まれている。</p>			<p>単身高齢者への支援活動は、一部の団体や個人に固定されがちであることから、地域住民への意識啓発等を通じて、活動の裾野を広げるとともに、継続的な取り組みが可能となるような体制を作る必要がある。</p> <p>また、単身高齢者の個人情報の取扱いに関して、地域住民が主体的に考え、単身高齢者本人はもとより、地域住民全体の合意形成を図る中で本事業を進めることが、上記の体制づくりに不可欠となる。</p>			
今後の事業の予定・方向						
<p>現時点では、新たな行政課題や市民ニーズ、社会情勢の変化等が見当たらないことから、当面、当初予定したスケジュールで事業を進めることとする。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	0	2,300	1,600	2,100	6,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
予算	事業費	0	720	-	-	720
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
実績	事業費	0	-	-	-	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				12.0%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						
事業内容の再検討をし、予算決定を行った。						